

ぶらネットこまき

<http://www.komakichiku.com/> (古牧地区住民自治協議会広報紙)



第95号
古牧だより通算189号

初の「獅子舞フェスティバル」に古牧地区から4団体 華麗に、そして勇壮に舞う

5月の大型連休の4日、長野市内の獅子が一堂に会して舞う「獅子舞フェスティバル」が開かれました。このフェスティバルは今回が初めて。68団体が、中央通りに設けられた7カ所の演舞エリアで、華麗で勇壮な舞を披露しました。

古牧地区からは、五分一太神楽保存会、西尾張部神楽保存会、西和田御神楽芸能同志会、平林神楽保存会の4団体が参加しました。



他地区の舞に勉強

西尾張部

西尾張部神楽保存会のメンバーは、今年初めて開催されるイベントに想像以上の賑わいで驚きと同時に気持ちが高揚しました。



普段は、他地区のお祭りに行かなくては見ることはできません。このフェスティバルでは各地区のお獅子を一堂に見ることができ、画期的な企画だと感じました。

他地区を見て、お囃子のメロディーや舞い方は違うのですが、動きのキレイや動物的な所作は本当に勉強になりました。一見簡単そうに見えても、実際にやるのは大違いです。奥の深い世界、常に勉強の気持ちで精進したいと思います。

(西尾張部神楽保存会 堀内隆太郎)



250年の歴史を超えて

五分一

五分一太神楽は約250年前の江戸中期から伝わるもので、五分一流として長野平各地に伝えられました。後継者不足により次第に衰退していましたが、3年前、約50年ぶりに復活することができました。

オープニングでの五分一流神楽27頭勢揃いで獅子舞は圧巻でした。五分一は若手の笛のホープの音色とともに、「無病息災」を祈願しつつ舞わせていただきました。

今回長野獅子舞フェスティバルに参加でき、また、五分一流以外の獅子舞も見られて大変によかったです。

(五分一太神楽保存会 小林 信男)



全国的に有名なフェスティバルにと願う **平林**



我が平林神楽保存会は6名、獅子2頭で参加。オープニングでは25団体に加わり、ずらりと並んだ獅子頭に動きを合わせ熱演することができました。

69団体もの保存会が一堂に集まることは「獅子舞フェスティバル」ならではのことで、沿道を埋めた大勢の観客も、迫りに圧倒され盛んに拍手を送っていました。

出演された各地区の神楽獅子舞保存会は後継者不足に悩んでいます。地区によっては子どもや女性たちの参加も目立ち、将来が楽しみに感じました。今後、回を重ね多くの若い人たちも参加して、長野市独自の「獅子舞フェスティバル」として継続し、全国的にも有名なフェスティバルとして定着することを願い会場をあとにしました。

(平林神楽保存会幹事 井原 章男)



さらに芸に磨きをかける思い強く **西和田**

西和田区の和田神社御神楽芸能同志会は7名が参加しました。

当日は五月晴れのなか大勢の観客が集まり、午前「かるかや山前」、昼は「西友前」で、通常は神社の神殿で舞う「本舞」を披露しました。長野市内には約200の神楽団体があるとのこと。今回様々な獅子舞を見ることができました。これからの私たちの獅子舞の参考になりました。

実行委員会によると、来年も開催するとの事でした。芸を磨いてまた参加します。関係者のみなさま大変ご苦労様でした。

(和田神社御神楽芸能同志会事務局 中村 和雄)



今こそ出番! 福祉推進員・保健補導員

春季福祉推進員・保健補導員研修会

福祉健康部は4月26日(木)古牧公民館で「福祉推進員・保健補導員研修会」を開きました。目的は、①地域の福祉についての理解を深めること②地域での担い手としての役割を受け止め行動すること③地域全体の意識の高揚をはかることです。

長野市社会福祉協議会の足立幸子さんが講演しました。足立さんは、昨今の医療・介護などの福祉の状況をかんがみると、「福祉推進員、保健補導員の役割は大切で、期待もされている」と強調。いまこそ、その役割を果たしていこうと呼びかけました。

他地区(篠ノ井、川中島、古里)などの地域のサロン事業とその効果の紹介もあり、みなさん真剣に学びました。

休憩後は、ほんわか健康応援隊によるアトラクションとして、ストレッチ体操、脳トレ、



アコーディオン演奏に合わせた音楽療法などで楽しみました。

最後に激励・決意宣言として初代福祉部会長の跡部和教さんから、足まめ、筆まめ、電話まめ、急ぐまめ、出まめなどのユーモアのある奥深いお言葉がありました。

参加者は、各区の福祉推進員、保健補導員と歴代の古牧地区住民自治協議会福祉部会長で、総勢90人でした。(福祉健康部)

『子どもの見守り』にどうかかわる?

学校と地域で子どもの安全を守る古牧地区連絡会

5月25日(木)に古牧公民館で、「学校と地域で子どもを守る古牧地区連絡会」が開かれました。連絡会には関係する6小中学校の学校長をはじめ、13地区の区長ら約80人が参加しました。

各学校の取り組みでSNS(インターネットを使ったコミュニケーション方法)の書きこみトラブル問題などが報告されました。SNSの書きこみは潜在化・陰湿化しており、子どもと学校だけでは解決は難しく、保護者や地域との連携が不可欠との指摘がありました。また、4年前に起きた三陽中学校の生徒の死亡事故を風化させてはならないと、同校が取り組みを報告。「事故が起きてから交通安全運動に取り組んでも生徒は帰ってこない、絶対に事故が起きない学校にしたい」と痛切に訴えました。

先日、千葉県で保護者会の元会長が女子小学生殺害に関与した疑いがあるとされたこと

も問題視されました(翌26日、殺人・強制わいせつ致死などで起訴)。子どもを見守る立場の人間として、驚きと怒りに震えるとともに、今後、『子どもの見守り』活動にどのように取り組んでいけばよいかという難しい課題に直面していると実感しました。

警察側から、①子どもへの犯罪につながる「声かけ」が増加傾向で、「後つけ」なども含めて下校時に一番起きている②交通安全では自転車モラルが低下しており年齢が高くなるほど顕著などの報告がありました。(防犯部)



6月～7月の主な行事実施日のお知らせ

(多くの皆様の参加を
お待ちしております)

事業名	実施日	各区	実施内容	お問合せ先
春のごみゼロ運動等	5月1日～	各区内	道路側溝、河川、公園掃除等	環境美化部
アメリシロ防除活動	6月1日～	各区全域	公共施設等の樹木の消毒等	環境美化部
ほんわか健康 応援隊養成講座	6月6・13・20日 7月4日	古牧公民館	各区の健康体操のリーダーを 養成 全4回コース	ボランティアセンター
男女共同参画セミナー	6月21日	古牧公民館	災害時に子どもが安心できる 居場所づくり	人権・男女参画部
親睦ゴルフ大会	6月27日	長野国際 カントリー	親睦ゴルフ	福祉健康部
中学生球技大会	7月9日	ROUND 1	ボーリング大会	青少年育成部
男性の料理教室	7月21日	古牧公民館	季節のお料理を作ります	福祉健康部
社会を明るくする運動	7月22日	古牧公民館	青少年の非行問題の理解を深 める	実行委員会(総務部)
三世代交流 マレット・ゴルフ	7月30日	長野運動公園	世代交流事業	福祉健康部

しゃばえんびつ



伝統を受け継ぎ後世に伝える

5月4日中央通りで、市主催の第1回獅子舞フェスティバルが真夏を感じさせる中、開催された。市内から69団体が獅子舞と見事な彫刻を施した神楽を披露して、各地区の先人達から受け継いできた心意気を市民、観光客に楽しんでもらった。

各地区で獅子舞を継続している事は素晴らしいと思っています。気力、体力、組織の結束そして地区の理解と協力がないと続けられません。以前は、自前でお祭りが出来たが、戦争、高度成長期、高齢化等に伴い出せなくなった話を耳にします。

また、地区の活性化で神楽復活の話もこれまた耳にして、よくぞ復活できたとそれまでの苦労を思い浮かべます。

囃子方、獅子舞、着物等にもそれぞれ特徴があり、女性の囃子、獅子舞の参加もあって更に子供達による獅子舞も盛んに観客から注目されていました。子供達のうまさには本当にびっくりしてしまいました。

次世代も大丈夫そして安心という思いが各地区にも出来たらと本当に心強い限りであるが、現状はそう甘くはないと思っています。

春の祭りでは、あらゆるものの成長を願い、秋祭りでその成長に感謝し、太平に生活できることに喜びを思えるお祭りを、これからもずっと続けていきたと願っています。(宇佐美 憲一)



古牧地区の世帯数と人口

29年5月1日現在

11,250 世帯

26,610 人

(男 13,129人 女 13,481人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話・FAX 259-8359)
(E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp)
- 発行者 宮島 俊文
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 尙小池印刷